



シンポジウム・市民との交流会

アフリカン・ヒーロー、北の港町を訪れる Perspectives from the South

岩波書店『思想』の衝撃的な評論で、日本の論壇に上陸。
右肩上がりを前提とする近代の思想を徹底的に批判し、
民衆の認識論にもとづいた世界観、誰かを出し抜くのではない共同体の繁栄を構想する
フランシス・B・ニャムンジョー一行が、みなとまち気仙沼を訪問。その印象を語る。

プログラム

趣旨説明 梅屋潔（神戸大学教授）

挨拶

第一部 気仙沼巡検の所感：フランシス・B・ニャムンジョー、ハリー・ガルバ、
マーロン・バージェス、ミンガ・コンゴ、ムソミ・ズズィウエ、
シヴィレ・ツェフ、ムシャカ・モナ

第二部 研究発表と学術交流：荒木真歩「公募による民俗芸能の担い手メンバーシッ
プからシティズンシップへ」、木村彩音「『誰の家族か』をめぐる問いとシティズンシ
ップ」、土取俊輝「空き家の仏壇と死者のシティズンシップ」

コメント： F・B・ニャムンジョー、ハリー・ガルバ

閉会 波佐間逸博（長崎大学准教授）



フランシス・B・ニャムンジョー（右）

ケープタウン大学教授。著作『宇宙論の瓢箪から酒を飲む』
文芸批評『内部者と部外者』『結婚はしてるけど』など。社
会人類学、小説、演劇など様々な分野にわたる著書多数。2
013年、オハイオ大学アフリカ人ユニオンが選ぶ「アフリカ
ン・ヒーロー 2013」に選出。『#ローズは倒されなければならない』で2018年フェージ&オリバー賞受賞。

ハリー・ガルバ（左）

ポストコロナ論、アニミズム論の詩人であり、文学研究
家。ウガンダ作家ショインカ、アチエベなどナイジェリア
人作家や、オコト・ビテックなどについての革命的論考多数。
前ケープタウン大学人文科学部長。



昨年7月に大阪を訪れた一行

7/11（水） 19：00～21：00

会場：気仙沼プラザホテル

入場無料 問い合わせ：梅屋 090-4030-9735

主催：JSPS 科研費 16K04126、H29～30年度 JSPS 二国間交流事業共同研究・南アフリカ（NRF）との共同研究「21世紀の南アフリカと日本におけるシティズンシップ」

共催：東北学院大学同窓会気仙沼支部

H28年度～32年度 JSPS 研究拠点形成事業（A）先端拠点形成型「日欧亜におけるコミュニティの再生を目指す移住・多文化・福祉政策の研究拠点形成」

H30年度神戸大学国際文化科学研究推進センタープロジェクト「シティズンシップ概念の地域的展開と理論的展開に関する共同研究」

協力：気仙沼市、気仙沼市教育委員会、三陸新報社、河北新報社、K-NET 気仙沼ケーブルネットワーク株式会社、ラチオ気仙沼